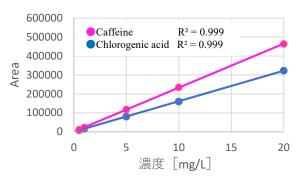
GL Sciences Inc.

# HPLCによるコーヒー中のクロロゲン酸の分析

クロロゲン酸はコーヒーに多く含まれるポリフェノールの一種で、抗酸化作用を持つほか、発ガン性物質の生成を抑え、不活性化させる作用があると言われており、様々な研究がなされています。

今回、逆相とイオン交換の2つの分離モードを持つ InertSustain AX-C18と、高極性化合物の保持に適している InertSustain AQ-C18の2つのカラムを用いてコーヒー含有成分の分析を行い、InertSustain AX-C18でクロロゲン酸 ピークと夾雑成分ピークとの分離を良好に行うことができましたので、ご報告いたします。 (R.Takahashi)

### 標準試料測定例



検量線 (InertSustain AX-C18使用)

#### HPLC条件

カラム : 5 μm, 150×4.6 mm I.D.

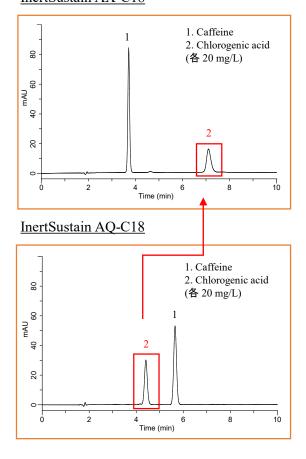
溶離液 : A) CH<sub>2</sub>OH

B) 50 mM KH<sub>2</sub>PO<sub>4</sub> in H<sub>2</sub>O (pH 2.3 H<sub>3</sub>PO<sub>4</sub>)

 $A/B = 30/70, \tilde{v/v}$ 

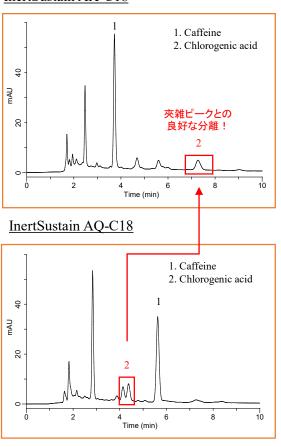
流量 : 1.0 mL/min カラム温度 : 40 ℃ 検出器 : UV 280 nm 注入量 : 10 µL

### InertSustain AX-C18



## 市販インスタントコーヒーの分析例

### InertSustain AX-C18



InertSustain AX-C18を使用すると、陰イオン交換作用によってクロロゲン酸の保持が強くなる。

## InertSustain AX-C18を用いた 各pHでの市販インスタントコーヒーの分析例

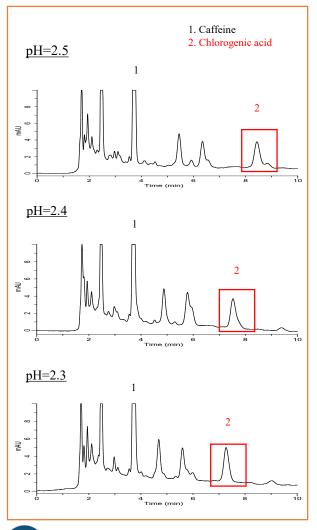
前処理例



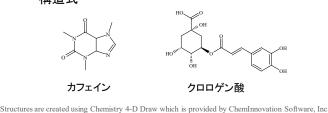
希釈

-精製水で100倍希釈

**HPLC-PDA** 



### 構造式



### InertSustain AX-C18

シリカゲルにC18基と3級アミノ基を結合し、 逆相と陰イオン交換の作用を持つミックスモードカラム。 一般的な逆相カラムに比べ、酸性化合物の保持が強まる。



母体: 高純度球状シリカゲル(ESシリカ)

粒子径: 5 μm

化学結合基: オクタデシル基+アルキルアミン基(3級アミン)

エンドキャップ: あり

炭素量: 8%

推奨使用pH範囲: 1~9 USPコード: L1、L78

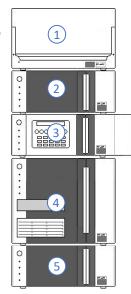
今回使用したカラム: 5 μm, 150×4.6 mm I.D.

Cat.No. 5020-91014

## 使用製品

- シリンジフィルター
  - GLクロマトディスク 25A 0.45 μm Cat.No. 5040-28512
  - プラスチックディスポーザブルシリンジ 10 mL ルアーロック型 Cat. No. 1030-55110
- バイアル関連製品
  - スクリューバイアル 1.5 mL 100本入 Cat.No.1030-51022
  - セプタム付スクリューキャップ PTFE赤/シリコン白 厚さ1.0 mm Cat.No.1030-51222
- ●HPLC装置
  - 日立HPLCシステム Chromaster

No.	品名	型番
1	オーガナイザー	
2	検出器	5430
3	カラムオーブン	5310
4	オートサンプラー	5280
5	ポンプ	5160





# ジーエルサイエンス株式会社

〒163-1130

東京都新宿区西新宿 6-22-1 新宿スクエアタワー 30F TEL.03-5323-6611 FAX.03-5323-6622

※各試験法は、変更される場合がありますので、分析の前に確認されることを お薦めします。

データに起因し、直接的または間接的に生じたいかなる損害に対しましても、 当社が責任をおうものではありません。また、記載事項につきましては、予告 無しに改訂する場合がありますので、あらかじめご了承ください。 カスタマーサポートセンターでは、ノウハウのご提供と分析に関するフォローを行なっております。 お困りの際には、カスタマーサポートセンターまでお気軽にお問い合わせください。

カスタマーサポートセンター (土・日・祝除く9:00-17:00)







【アプリケーションの検索はこちら】

https://www.gls.co.jp/technique/app/app\_search.html